



第11回高分子分析討論会報告【2006】

【概要】

2006年10月26日（木）・27日（金）の2日間、名古屋市工業研究所において標記討論会が高分子分析研究懇談会の主催により開催された。この討論会は日本分析化学会員だけでなく広く高分子分析に携わる人が発表できる場となっている。

渡辺健市 実行委員長（豊田合成）の開会挨拶から始まり、プレビュー講演Ⅰ、ポスター発表Ⅰ、特別講演、プレビュー講演Ⅱ、ポスター発表Ⅱと順に行われ、懇親会で1日目が終了した。2日目もほぼ同様な日程で進められ、最後に、高分子分析研究懇談会の脇坂達司 運営委員長（花王）の閉会の挨拶で締めくくられた。参加登録者は340名であった。

【ポスター発表】

ポスター発表では、発表の前に一人3分間の持ち時間でプレビュー講演を行うことが慣例となっている。参加者が全てのポスター発表をプレビュー講演で短時間に把握できるために好評で、本討論会の特色としてプレビュー講演は定着している。2日間で73件のポスター発表があり、高分子材料に対するクロマトグラフィー、質量分析、NMR、XRD、IR、ラマンによる構造解析、DSCや粘弾性測定による物性評価、TEM、SEM、SPM、XPSや顕微IRによる表面観察と表面分析などの研究例が発表され、活発な討論が行われた。

【ポスター賞】

また、ポスター発表者、高分子分析研究懇談会運営委員、高分子分析討論会実行委員の投票によりポスター賞の受賞者が選出され、1日目の懇親会と2日目の閉会時に表彰された。ポスター賞の受賞者は、以下の8名であった。（発表番号順、敬称略）

1. 「染色法とアルゴンイオンビームを用いた高分子材料の断面作成法の検討」 間宮 悟（日東分析センター）
2. 「赤外MAIRS法によるフッ素系ポリマー薄膜の構造解析」 松永 将弥（旭硝子）
3. 「On-line SEC/ESIMSを用いた合成高分子の構造解析」 土田 好進（住友化学）
4. 「紫外線照射したポリプロピレン中のN-CH₂型高分子量HALSの反応熱脱着GCによる化学構造変化の解析」 青井 裕美（名古屋工業大学）
5. 「紫外線強制劣化試験を利用した素黒目漆膜と黒漆膜の塗膜分析」 神谷 嘉美（明治大学）
6. 「臨界吸着クロマトグラフィーによるレジスト用共重合体の組成分布解析」 西村 崇（大阪大学）

7. 「偏光ATRによる高分子材料の配向性評価」池田 俊之（旭化成）

8. 「アクリル系熱可塑性エラストマーのTEM観察手法の開発」小深田 修治（クラレ）

【特別講演】

特別講演は、1日目に「高分子の新しい高次構造の創成と固体NMRの展開」と題して 安藤勲 特任教授（東京工業大学）に行って頂き、2日目に「高分子の相互作用HPLC」と題して 寺町信哉 教授（工学院大学）に行って頂いた。

安藤教授は、長いアルキル鎖を持つpoly(p-biphenylene terephthalate) から作られる多様な相の相変化やそのチャンネル内でのメタンやエタンの拡散特性、ポバールからなるソフトなゲルの生成過程、さらにはアルキル鎖を有するポリペプチドの液晶特性などについて、固体NMR法および磁場勾配NMR法を使って明らかにされた研究例を説明され、構造・ダイナミックスの高精度な情報を取得するテクノロジーとしてのNMRの有用性を強調された。

寺町教授は、高分子分析におけるHPLCの発展を概観され、近年進展してきた相互作用ポリマークロマトグラフィーの基本概念と理論を紹介された。特にSECよりも分子量分別として高い能力を持つと言われている温度勾配相互作用クロマトグラフィーを詳細に解説された。

【懇親会】

1日目の夜に行われた懇親会は、討論会に参加登録された半数近い144名が参加し、意見交換と懇親が深められた。柘植新 教授（愛工大）の乾杯で始まり、後藤幸孝 前運営委員長（ダイヤ分析センター）の一本締めで散会となった。乾杯の挨拶の中で柘植教授は、本討論会が分析化学会や高分子学会の年会では一同に会することのない人が集う場になって、国際的にも希な会であることを指摘された。

【謝辞】

最後に、会場を提供頂いた名古屋市工業研究所、カタログ展示などで協賛して頂いた 旭テクネイオン(株)、アルバック・ファイ(株)、エーエムアール(株)、エスアイアイ・ナノテクノロジー(株)、(株)エス・ティ・ジャパン、サーモエレクトロン(株)、独立行政法人産業技術総合研究所、ジーエルサイエンス(株)、(株)島津製作所、昭光通商(株)、昭和電工(株)、新川電気(株)、(株)センコム、(株)ダイヤ分析センター、ティー・エス・インストゥルメント・ジャパン、東ソー(株)、NEAT(株)、(株)日東分析センター、日本電子(株)、日本分析工業(株)、(株)パーキンエルマー・ジャパン、独立行政法人物質・材料研究機構、フロンティア・ラボ(株)の各社に感謝いたします。

〔豊橋技術科学大学 服部敏明〕

